

機械器具 09 医療用エックス線装置及び医療用エックス線装置用エックス線管
X線用テレビ装置（コード：70027000）
一般医療機器・特定保守管理医療機器

X線 TV 装置 STV500-1

**【形状・構造及び原理等】

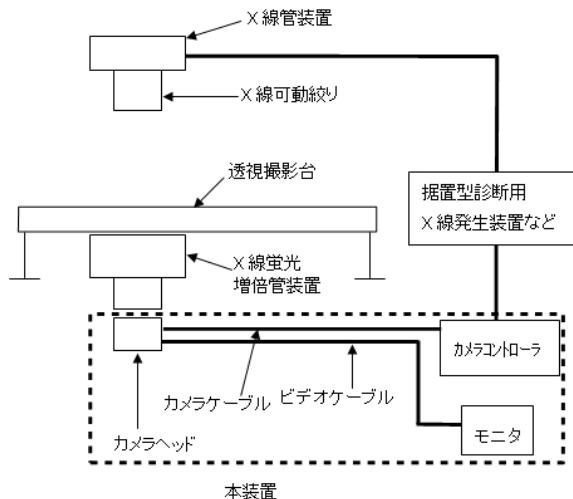
構成・構成ユニット

本装置は以下のユニットより構成されます。

- (1) モニタ
- (2) カメラヘッド
- (3) カメラコントローラ

作動・動作原理

本装置の概略を以下に示します。



本装置はX線管装置、X線蛍光増倍管装置等と組合せてX線による観察に使用する。

動作原理を以下に示す。

- (1) カメラコントローラは画像反転等の画像処理信号をカメラヘッドに送信する。
- (2) X線蛍光増倍管装置の出力蛍光面に結像された可視光像は、レンズによりカメラヘッドのCCD素子撮像面に結像される。
- (3) この結像された可視光像は、カメラヘッド内にてCCD素子により映像信号に変換された後、設定された画像反転等の画像処理が行われ、モニタに送信される。

電氣的定格

単相 AC100V 200VA 50Hz/60Hz

電氣的分類

電撃に対する保護の形式による分類：クラス I

【使用目的又は効果】

X線蛍光増倍管の出力像を、カメラヘッドおよびカメラコントローラで構成されるカメラユニットにて取り込みアナログビデオ信号に変換し、モニタに表示する。

**【使用方法等】

本製品の設置組立は当社サービス担当店が行います。

使用方法の概要は下記の通りです。詳細については取扱説明書を参照してください。

1. 立ち上げ

据置型診断用X線発生装置の電源を入れると、X線 TV 装置 STV500-1 に電源が供給される。

カメラコントローラの電源スイッチを入れる。

2. 透視

必要な設定を行った後、据置型診断用X線発生装置の透視開始ボタンを押して透視を開始する。

3. 停止

X線 TV 装置 STV500-1 への電源供給を止める（通常は据置型診断用X線発生装置の電源を切る）ことにより、動作を停止する。

（注）本使用方法是据置型診断用X線発生装置と組み合わせた状態での使用方法である。

**【使用上の注意】

重要な基本的注意

- ・この装置は防爆型ではないので、装置の近くで可燃性及び爆発性の気体を使用しないこと。
- ・麻酔薬、酸素、水素など可燃性および引火性の気体液体を使用する場所では使用しないこと。水のかかる場所には設置しないこと。
- ・検査を開始する前に装置に異常がないこと、構成品、付属品が確実に固定されていることを確認すること。
- ・検査前に被検者の位置、状態をよく確認すること。被検者自身の状態によって、被検者を危険な状態にすると判断される場合は検査、または治療を行わないこと。
- ・被検者のX線被ばく低減のため、照射するX線量を最小限に抑えて使用すること。
- ・X線照射時、被検者以外の人は、検査室にとどまらないこと。
- ・やむを得ず被検者以外の人が検査室内にとどまる必要がある時は、十分な防護処置をすること。
- ・被検者および機器に異常ないことを絶えず監視し、異常が発見された場合には、被検者に安全な状態で機器の作動を止めるなど適切な措置を講じること。
- ・指定された機器以外の装置を接続した場合、所定の EMC 性能を発揮できない恐れがあるので指定機器以外は接続しないこと。

**【保管方法及び有効期間等】

1. 動作保証条件

下記の環境条件下で使用してください。

温度：+10～+40℃

湿度：30～85%RH

気圧：800～1060hPa

2. 耐用期間（自己認証(当社データ)による）

取扱説明書を必ずご参照ください。

指定された保守点検を実施し、指定された使用条件で使われた場合、6年とします。使用状況により差異が生じることがあります。

**【保守・点検に係る事項】

使用者による保守点検事項

始業・終業点検は必ず行ってください。詳細については取扱説明書を参照してください。

項目	点検頻度	点検内容（概要）
接続部品	適時	ケーブル、コネクタの傷、緩みの目視点検。
本体の汚れ	適時	アルコールによる清掃。
埃、ゴミ等	適時	エアールによる吹き飛ばし。
動作確認	始業時	本装置を組み込んだX線画像診断装置の取り扱い説明書に従う。

**業者による保守点検事項

本装置は精密機器ですので、サービス担当者による、定期的な保守点検を実施してください。実施しない場合、装置寿命の短縮や重大な故障に繋がる恐れがあります。

点検項目	点検頻度
I.I. の取付部において、締結用ネジに緩みがないか	6 か月
ケーブル点検(固定部の異常がないか、裂傷、断線などがないか)	6 か月
カメラ内部のレンズ締結用ネジに緩みがないか	6 か月
カメラ内部ハーネスのコネクタが外れかかっているかないか	6 か月
本体カバーなどに変形、大きな傷などがないか	6 か月

定期交換部品

部品名	数量	交換頻度	交換業者
ヒューズ F1、F2	各 1	2 年毎	サービス担当者

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者名称：株式会社島津製作所

同 電話番号：075-823-1271

同 ホームページ：<http://www.med.shimadzu.co.jp/>

**【備考】

文書番号：M531-0967B

P/N：582-91528

取扱説明書を必ずご参照ください。